

幼児教育・保育長期研修最終報告書

原 籍 校 名	下関市立山の田小学校	研 修 生 氏 名	永岡 恵美
研 修 派 遣 園	学校法人泉学園 認定こども園 泉幼稚園		
研 修 テ ー マ	幼児期の発達や学びを児童期へつなぐ支援・指導・連携の在り方について		
<p>1 研修の概要</p> <p>(1) 研修目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ○幼児期の心身の成長過程や学びの過程を理解することで、小学校教育にスムーズに移行できる支援や指導の在り方を学ぶ。 ○「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を育むための保育園や幼稚園の取組を知る。 <p>(2) 研修内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○幼児期の子どもの育ちと発達に応じた支援や指導の方法を理解する。 ○幼児教育と小学校教育をつなぐ交流活動を企画・提案・実施する。 ○架け橋期のカリキュラムを作成する。 <p>(3) 研修方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ○幼稚園や保育園の補助教員の活動を通して、乳幼児期の心身の成長過程や学びの過程を理解し、支援や指導方法について観察し、記録する。 ○原籍小学校での授業参観を行う。1年生担任や幼稚園職員との連絡会を行い、幼保小の交流活動を企画・提案・実施する。 ○派遣園、原籍校と連携し、架け橋期のカリキュラムを作成する。 <p>(4) 研修計画</p> <p>[派遣園での研修]</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 学期 幼稚園での生活や活動の様子を知り、子どもの心身の成長過程に応じた支援や指導の在り方を学ぶ。 2 学期 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を軸に、幼児教育と小学校教育の円滑な接続を考察する。 3 学期 架け橋期のカリキュラムを作成し、派遣園、原籍校で内容を周知する。 <p>[派遣園以外での研修]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○県が指定する研修（8日） ○指定園での研修（2週間程度） ○市町教委の計画による研修（年間40日程度） <ul style="list-style-type: none"> ・原籍校での報告、研修等 ・市町教委での報告、研修等 ・他の教育施設、小学校等での研修等 ・特別支援教育に関する研修 ○その他 <ul style="list-style-type: none"> ・幼児保育課での報告、研修打合せ ・山口県私立幼稚園教育振興大会参加 <p>2 研修の成果</p> <p>(1) 幼児期の発達や学びを児童期へつなぐ支援・指導</p> <p>①「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」</p> <p>「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は、幼稚園や保育所、認定こども園での生活を通じて、「資質・能力の3つの柱」が育っている子どもの就学前の姿を、具体的に示したものである。5歳児後半にいきなり出現するものではなく、日々の保育の積み重ねがその姿につながり、小学校以降も育ち続けていく。「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は、到達目標ではないこと、園生活すべての場面で育つこと、「幼児期の終わりまでに育ってほし</p>			

い姿」の視点で子どもの様子を見取ると、物や人などの環境に関わりながら、多くのことを学んでいることが分かった。

②造形表現活動で子どもを育てる

泉幼稚園には、造形ランドという保育プログラムがあり、造形表現活動に力を入れている。造形あそび、絵画活動、製作活動を通して、消極的だった子どもが積極的に活動に取り組んだり、失敗しても挑戦したりするなど姿が変わってきたようだ。絵画活動において、園の先生方が大切にしていることが3点ある。1点目は、子どもの思いを汲み取ることである。作品や絵には、子どもの思いが入っている。作品や絵を通して子どもと対話をし、関わりを深めているとのことだった。2点目は、見守ることである。保育者が誘導することなく、子どもが主体的に取り組めるように、活動を見守っていた。また、子どもが周囲を見回すなど、困っている姿を捉え、タイミングを見極めて声を掛けたり、援助をしたりしていた。決して「上手」という言葉は使わず、「すごいね」「いいよ」など、子どものやる気が持続するような言葉を掛けていた。安心して、最後まで丁寧に絵を描く姿が見られた。3点目は、定期的に園で研修を行うことである。保育者皆で、絵から子どもの心情を読み取ったり、保育を振り返ったりしている。絵を見れば、クラスが落ち着いているのかも分かるそうで、落ち着きのなさを感じる場合は、保育計画を見直したり、子どもとの関わり方を変えたりしているとのことだった。造形表現活動において園の先生方が大切にしてきたことを、小学校生活の様々な場面で生かしていきたい。



③環境の構成

研修を進めていく中で、初めて聞いた言葉が「環境の構成」であった。幼児教育・保育は、環境を通して行われるのが基本であり、子どもが必要な経験を積み重ねていくことができるように、発達の道筋を見通して、教育的及び保育的に価値のある環境を計画的に構成しているそうである。泉幼稚園の環境にも注目してみた。

まず、先生方の笑顔の関わりは、子どもたちに安心感を与え、園全体が温かな雰囲気にも包まれていた。また、遊具や道具など、どんなものを置くか、どこに置くか、量などを考え、子どもの姿を見ながら変化させていた。そのことにより、子どもは興味・関心をもったり、試行錯誤したりしていた。園庭に植えているどんぐりの木からは、季節の変化を感じ、どんぐりを工夫して遊びに使う姿も見られた。人、物、時間・空間などあらゆるものが子どもにとって大切な学びにつながる環境であることを知った。小学校でも「環境の構成」をさらに意識していきたいと思った。

(2) 連携体制構築

①子どもがつながる

運動会見学（5月22日）

最初の交流は、お互いに気楽に交流ができればよいと思い、1、2年生の運動会見学を計画した。本番さながらに踊ったり、走ったりする小学生を見て、園児たちは、「かっこいい!」「走るのが速い!」と口々に感想を話したり、一生懸命応援したりしていた。初めて出会う校長先生の話聞いて園に戻った。園に戻るなり、「リレーがしたい。」と言って、赤白に分かれてリレーをしていた。1、2年生は、園児に応援してもらったり、認めてもらったりすることで嬉しさを感じ、園児は憧れをもったり、遊びの刺激を受けたりするなど、お互いによい時間となった。



5年生との交流（年2回）



1回目（6月24日）場所：泉幼稚園

5年生が泉幼稚園へ行き、児童が希望するクラスに入り、1時間遊んだ。最初は園児も児童も緊張している様子だったが、時間が経つにつれ、距離も縮まり、笑顔で過ごしていた。交流後は、手紙のやり取りもした。



2回目（9月9日）場所：山の田小学校

5年生が1回目の経験を生かし、園児のことを思って遊びを考えた。教室では、折り紙やぬり絵、じゃんけん列車などをして楽しみ、体育館では、忍者ごっこをして、時間いっぱい体を動かしていた。各クラスでコースを変え、園児が怪我をしないようにマットを敷いたり、手をつないだりする工夫があった。

2回交流したことで、園児は5年生に親近感をもつことができ、5年生は園児に対する理解をより深めることができ、直接交流することのよさを感じた。来年度、5年生は最上級生として、1年生を迎え入れ、支えることができる、1年生は顔なじみのお兄さん、お姉さんがいるという安心感をもって学校生活を送ることができるのではないかと考える。

幼保こ小交流会（10月18日）

参加した園は5園。1年生には、園児を大切にし、思いやりの心を育てほしい、園児には、小学校への憧れの気持ちや親近感をもってほしい、何より近隣の園同士が仲良くなってほしいとの思いで、コロナ禍でストップしていた交流会を5年ぶりに再開した。



1年生が司会進行をした。

内容：学校クイズ、ゲーム、歌、3年生の動画メッセージ（ヒマワリの種のプレゼント）、メダルのプレゼント

可能な限りいろいろな学年に交流してほしいと思い、3年生に園児へヒマワリの種のプレゼントをすることを提案した。交流会に参加できなかったものの、ヒマワリの種とともに動画でメッセージを送ってくれた。「もう終わるの？」という園児もあり、1時間という短い時間だったが、楽しい交流ができたようであった。

栄養教諭による食育授業（1月23日）

泉幼稚園の給食は弁当なので、学校給食を食べる、自分たちで配膳をするといった学校給食への不安が大きいのだろうと思った。また、1年生の4月の個人懇談で、保護者からよく相談されるのは、残さず食べているか、マナーよく食べているかなど、給食に関することである。園児も保護者も、少しでも学校給食への不安感がなくなるとよいと思い、栄養教諭に食育授業をお願いした。



給食メニューや栄養バランスについて話を聞いた後、エプロンの着脱や配膳の体験をした。園児たちは、興味をもって話を聞き、食器を落とさないように、ゆっくりと運ぶ姿が印象的であった。この日以降、給食を意欲的に食べる園児が多くなったように思う。

学校紹介に関する交流

予備入学（2月4日） 1年生による学校生活紹介（対象：来年度入学予定児）



1年生がタブレットを使い、新1年生に教えたこと（学習、持ち物、教室など）を分かりやすく伝えていた。園児たちは「楽しかった」と答えていた。

6年生との交流（2月27日） 6年生と学校探検（対象：泉幼稚園年長児）



6年生と年長児が校長室、保健室、図書室などの特別教室を見学した。その後、6年生が学校生活（朝の会や挨拶の仕方など）について紹介した。

②先生がつながる

原籍校の教職員対象に泉幼稚園の保育参観を実施した。10月29日は5名、11月12日は2名の先生方が参観した。参観した先生方の感想は、「ただ遊んでいるのではなく、活動にはねらいがあるということが分かった。」「幼い時から成功体験やチャレンジ精神を育むことが大切であると感じた。」「このような体験をしている子どもたちであるということ踏まえ、小学校での生活、授業を考えていきたい。」というものであった。さらに、幼児教育の素晴らしさが広まるように、来年度は参観の機会を増やしていきたい。

③育ちと学びがつながる

リーフレット『はじめのいっぽ』を参考に、「架け橋期のカリキュラム」を作成した。泉幼稚園と山の田小学校の教員で“めざす子ども像”を話し合い、「ワクワク学ぶ子、ありがとうが言える子、つよい体と心をもつ子」になった。こういった子どもを育てるために、園と小学校でそれぞれねらいをもって、どの活動でどんなことに配慮していくかを示した。小学校は生活科を中心にカリキュラムを進めていく。交流活動に関しては、どんな活動だったかを把握できるように、年長児と1年生の交流については、ねらい、配慮、活動内容を示した。他の学年の交流については、総合の年間計画に詳細を記載した。カリキュラムに交流活動を示すことで、担任や担当者が変わっても、継続して交流を行うことができると考える。

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年
国語	「はじめのいっぽ」を参考に、生活科を中心にカリキュラムを進めていく。	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。
算数	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。
理科	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。
社会	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。
総合	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。
体育	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。
音楽	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。
美術	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。
外国語	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。
特別活動	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。
その他	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。	「めざす子ども像」を話し合い、活動でねらいを達成させる。

3 今後の取組

- (1) 本県教育の充実に資するため、地域や他校などに対しての具体的な還元方策
 - ・研修会等での事例発表、「架け橋期のカリキュラム」についての情報提供
 - ・小学校の様子等を校区内の園などに情報提供
- (2) 自らの教育活動の中での具体的な活用方策
 - ・今年度作成した「架け橋期のカリキュラム」の実施・評価・改善
 - ・園と小学校の教員同士での研修会開催
 - ・教師の手立てや環境構成の工夫

4 その他

振り返れば、あっという間の1年間で、幼児教育について様々なことを学ぶことができた貴重な時間となった。研修の場を提供していただき、いつもご配慮くださった泉幼稚園の先生方、連携に協力してくださった本校教職員、常に的確なご指導をくださったすべての先生方に感謝の思いでいっぱいである。どの子どもも笑顔で登校し、楽しく学校生活を送ることができるように、今回の経験をいかし、子どもへの関わり方や環境構成を工夫していきたい。